

From Northern Ireland

Roberta Bacic is visiting Japan for research and study of the arpilleras in the **Oshima Hakko Museum** collection.

This year marks the 40th anniversary since the Allende Socialist Government was overthrown by the Pinochet military coup in Chile. The human rights activist, Chilean Roberta Bacic (who now resides in Northern Ireland), is visiting Japan in February to study the arpilleras collection in our museum. This is her second trip to Japan in connection with her work of curating exhibitions of arpilleras all over the world, passing on the stories of harsh experiences, everyday life, and resistance under the Pinochet military regime as sewn by Chilean women. She curated an arpilleras exhibition held in Osaka and organized by Prof. Tomoko Sakai in October 2010.

She is hoping to include some of our collection in international exhibitions after this research. We asked her to give a lecture on arpilleras (translation provided by Prof. Tomoko Sakai) on 16 February during her stay in Mastuyo. All are welcome, so please join us on this rare occasion.

Lecture Theme: Chilean Arpilleras and Poetry

What are arpilleras?

Arpilleras are Chilean patchwork tapestries. Under the Pinochet military regime, women from poblaciones (poor residential areas), women in the AFDD (Association of Relatives of the Disappeared) and the like, set up group workshops and created arpilleras together. As well as helping them make a living, this way of describing their lives and political demands on arpilleras was a way to fight back against the oppressive Pinochet regime and also to depict in bright colours and strong terms how they kept their humanity and solidarity under the inhumane dictatorship. In almost all the work, the ever-present Andes Mountains and the sun appear as a theme.

Translation by attention of Junshi Murakami

09 02 13

(1)

大島博光記念館ニュース 第24号

2013年1月20日
発行 大島博光記念館
〒381-1233 長野市松代町清野 2567-1
電話・FAX 026-278-1004
メール sonoko28@dia.janis.or.jp
http://oshimahakkou.blog44.fc2.com/

迎春

本年もよろしくお願ひいたします



パンよ おまえは
小麦粉と 水とでこねられて
火に焼かれて 服れあがる
重苦しそうと思えば 軽やかになり
平たいと思えば 丸くなり
おまえはまるで
母親の お腹のまねをする
パンよ
なんとおまえは気安くて
しかも奥ぶかいことか
おれたちは パンをつくらう
海からも 大地からも
おれたちは 小麦を蒔こう
大地のうえに 星星のうえに

パンへのオード パブロ・ネルーダ 大島博光訳

すべての人間が めいめい口にするパンは
日ごと毎日 やつてくるだろう
なぜなら おれたちは
ひとりの人間のためにではなく
みんなのために
小麦を蒔き パンをつくるのだから
パンを パンを
すべての人民のために
パンとともに
パンのかたちと味をもつすべてのものを
大地を
美を
愛を 人民のために
すべては存在するのだ
分配されるために
与えられるために
殖えてゆくために
だから パンよ
おまえが人間の家から消えうせようと
人びとがおまえを隠して
おまえはいないと言おうと
守銭奴が おまえを金づくで売りとぼしたり
金持が おまえを 買い占めたりしようと
パンよ
おれたちは お祈りなどはしない
おれたちは 乞食などはしない
おれたちは おまえのために闘うのだ
ほかのひとたちといっしょになつて
空っ腹をかかえた人たちといっしょになつて
おれたちは おまえを探しに行くだろう
風のなかを 流れの底までも
おれたちは 大地を分配するだろう
おまえが 芽をだすことのできるように
そして大地も おれたちといっしょに前進するだろう
水も 火も 人間も
おれたちといっしょに闘うだろう

<2013年 スケジュール>

- 2月16日 ロベルタ・バシックさん講義
「アルピジェラと詩」
- 4月 アンズを愛でる会
- 5月1日～企画展：私とピカソ—大島博光のピカソ鑑賞
- 5月18日（土）友の会総会、西島史子さん朗読の会
- 5月19日（日）午前 西島史子さん朗読実技講座
- 6月9日（日）記念館バラ祭り
- 7月13日（土）記念館開館5周年記念
神野/宮林ヴァイオリンコンサート（松代文化ホール）
- 10月 柳沢さつきさん講演会
「信州モンバルナスの詩人たち」
- 11月 秋のバラ祭り
- 12月 クリスマス会
- 定例：詩を読む会、名画鑑賞会（毎月第2土曜日）
うたごえ喫茶（毎月第4土曜日）

【大島博光記念館 企画展】

私とピカソ
——大島博光のピカソ鑑賞
2013年5月～11月
戦前からピカソを愛し研究してきた大島博光が語る人間ピカソと作品の魅力



ロベルタ・バシックさん 講義

「アルピジェラと詩」
とき：2月16日（土）16:00
ところ：大島博光記念館
*18:30より歓迎交流会
世界各地でアルピジェラの展示会を開いているバシックさん（チリ出身）が語ります

